



# 特別プログラム

## 特別講演

2月24日(水) 13:50-14:50

第1会場(4F ロイヤルホール①)

司会：大慈弥裕之(福岡大学医学部 総合医学研究センター)

SL 海賊と呼ばれた男のモデル出光佐三について

出光興産株式会社

○星野 完

## 教育講演 1

2月24日(水) 10:50-11:50

第1会場(4F ロイヤルホール①)

EL1 KY美容塾；鼻の穴が気になる患者の治療法

ヴェリテクリニック東京銀座院

○福田 慶三

リラ・クラニオフェイシャル・クリニック

○菅原 康志

## 教育講演 2

2月25日(木) 13:30-14:30

第2会場(4F ダイヤモンド)

司会：白壁 征夫(医療法人社団白壁会 サフォククリニック)

EL2 顔面抗加齢手術に必要な解剖

久留米大学医学部 解剖学講座 肉眼・臨床解剖部門

○渡部 功一

共通講習 医療安全講習会

2月24日(水) 15:00-16:00

第2会場(4F ダイヤモンド)

「美容外科の自由診療に必要な医療保険：  
患者と自分を守るためにどのように体制を整えるか」

司会：青木 律((公社)日本美容医療協会)

CL-1 美容外科医療事故裁判例から学ぶ～特質と対策～

日野・田村法律事務所  
○田村 雅樹

CL-2 総合保障制度から読み解く、美容医療における医療安全

帝京大学医学部 形成外科  
○小室 裕造

特別シンポジウム

2月25日(木) 13:30-15:00

第1会場(4F ロイヤルホール①)

「学会合同美容医療診療指針(令和元年度厚労科研特別研究報告)」

司会：大慈弥裕之(福岡大学医学部 総合医学研究センター)  
橋本 一郎(徳島大学病院 形成外科・美容外科)

SS-1 肝斑にレーザーやIPLは有効か？

日本医科大学医学部皮膚科学  
○船坂 陽子

SS-2 顔面のシワとタルミに対する自己多血小板血漿(PRP)療法の効果と合併症は？

関西医科大学 形成外科学講座  
○楠本 健司

SS-3 乳房増大：乳房増大を希望する患者に、非吸収性充填材の注入は勧められるか？

神戸大学医学部附属病院 美容外科  
○原岡 剛一

SS-4 フラクショナルレーザー療法、高周波、高密度焦点式超音波療法による治療は、シワ・タルミに有効か

東海大学医学部外科学系 形成外科  
○河野 太郎

SS-5 美容医療の実施数調査と有害事象調査

自治医科大学 形成外科学部門  
○吉村浩太郎

特別プログラム

一般プログラム  
第1日目

一般プログラム  
第2日目

特別講演

教育講演

共通講習

特別シンポジウム

シンポジウム

パネルディスカッション

教育パネル

一般演題

索引

## シンポジウム1

2月24日(水) 9:00-10:30

第1会場(4F ロイヤルホール①)

### 「魅力的な眼の形成術」

座長：野平久仁彦(蘇春堂形成外科)  
土井 秀明(こまちクリニック)

#### S1-1 '華やかな目元'の作成 ——短冊状挙筋腱膜弁の利用——

<sup>1</sup>株式会社形成技研、<sup>2</sup>城本クリニック、<sup>3</sup>牧野美容クリニック  
○田中哲一郎<sup>1,2</sup>、牧野 太郎<sup>3</sup>

#### S1-2 眼瞼下垂症術後の眼瞼位置に影響を与える要因の解析

<sup>1</sup>福岡山王病院 形成外科、<sup>2</sup>福岡大学医学部 形成外科  
○衛藤 明子<sup>1</sup>、高木 誠司<sup>2</sup>、西 建剛<sup>2</sup>、大慈弥裕之<sup>2</sup>

#### S1-3 魅力的な眼の形成術には、眼瞼の形態、眉の位置、そして表情の3項目を考慮する必要がある

<sup>1</sup>クリニック宇津木流、<sup>2</sup>東海大学医学部外科学系形成外科学、  
<sup>3</sup>銀座ファインケアクリニック  
○宇津木龍一<sup>1</sup>、河野 太郎<sup>2</sup>、奥村 仁<sup>3</sup>

#### S1-4 眼窩脂肪切除を併用した埋没式重瞼術の有用性の検討

<sup>1</sup>銀座S美容・形成外科クリニック、<sup>2</sup>北里大学医学部 形成外科・美容外科学  
○酒井 直彦<sup>1</sup>、矢沢 慶史<sup>1</sup>、武田 啓<sup>2</sup>

#### S1-5 眼瞼陥凹をいかに若々しい目に変えるか

蘇春堂形成外科  
○野平久仁彦、矢島 和宜、新富 芳尚

#### S1-6 魅力的な眼の形成術 ～外眼角靭帯移動術について～

ヴェリテクリニック銀座院  
○藤本 雅史、福田 慶三、大橋菜都子

## シンポジウム2

2月25日(木) 10:40-11:50

第1会場(4F ロイヤルホール①)

### 「下眼瞼の若返り」

座長：小室 裕造(帝京大学医学部 形成外科)

#### S2-1 下眼瞼除皺術と経結膜的脂肪摘出術にmicrolipo injectionを併用した下眼瞼の若返り

(医)Yanaga Clinic & 組織再生研究所  
○矢永 博子、矢永 茄津

#### S2-2 下眼瞼の若返りにおける複合的治療

聖心美容クリニック  
○鎌倉 達郎

S2-3 経結膜脱脂と脂肪注入の組み合わせによる目の下のくま治療

銀座みゆき通り美容外科

○水谷 和則

S2-4 経結膜的眼窩脂肪移動術を基本とした下眼瞼形成術について

<sup>1</sup>山梨大学医学部附属病院形成外科、<sup>2</sup>クリニック日比谷、

<sup>3</sup>甲府昭和形成外科クリニック

○百澤 明<sup>1,2,3</sup>、内浦康信<sup>2</sup>

シンポジウム3

2月25日(木) 10:00-11:00

第2会場(4F ダイヤモンド)

「肥満治療とBody Contouring」

座長：吉村浩太郎(自治医科大学 形成外科学部門)

S3-1 Massive weight lossにおける腹部Pittsburgh grade 3に対する手術の問題点

<sup>1</sup>千葉大学 形成外科、<sup>2</sup>新百合ヶ丘総合病院

○窪田 吉孝<sup>1</sup>、山田香穂子<sup>1</sup>、金井 雅彦<sup>1</sup>、松原 友貴<sup>1</sup>、川上 真央<sup>1</sup>、  
島内 香江<sup>1</sup>、緒方 英之<sup>1</sup>、秋田 新介<sup>1</sup>、栗山 元根<sup>2</sup>、三川 信之<sup>1</sup>

S3-2 “Lipoabdominoplasty”手術：当院の工夫

医療法人こころ満足会 形成外科KC

○新城 憲、東恩納邦子

S3-3 VASERを使った脂肪吸引、9,400例の検討。合併症を起こさない脂肪吸引のキーポイント

<sup>1</sup>ザ・クリニック 東京院、<sup>2</sup>ザ・クリニック 名古屋院、

<sup>3</sup>ザ・クリニック 大阪院、<sup>4</sup>ザ・クリニック 福岡院、

<sup>5</sup>ザ・クリニック 横浜院

○大橋 昌敬<sup>1</sup>、中居 弘一<sup>1</sup>、加藤 敏次<sup>1</sup>、千葉 明彦<sup>2</sup>、福田 越<sup>3</sup>、  
志田 雅明<sup>4</sup>、東 康晴<sup>5</sup>、浅井 智之<sup>1</sup>、村田八千穂<sup>1</sup>、西川みどり<sup>1</sup>

シンポジウム4

2月25日(木) 15:00-16:30

第1会場(4F ロイヤルホール①)

「魅力的な乳房の形成術」

座長：矢島 和宜(蘇春堂形成外科)

佐武 利彦(富山大学学術研究部医学系 形成再建外科・美容外科)

S4-1 魅力的な乳房再建のために：デコルテの再建も可能な酒井の拡大広背筋皮弁乳房再建

<sup>1</sup>たねだ内科 形成外科、<sup>2</sup>新宿美容外科・歯科、

<sup>3</sup>大分市医師会立アルメイダ病院 形成外科

○種子田紘子<sup>1</sup>、酒井 成身<sup>2</sup>、橋本 裕之<sup>3</sup>、宗元 碩哲<sup>3</sup>

S4-2 三次元術前評価に基づく乳房形成術—インプラントによる乳房再建ならびに豊胸術、  
G I D 乳腺全摘出術—

<sup>1</sup>ナグモクリニック大阪、<sup>2</sup>ナグモクリニック東京、  
<sup>3</sup>ナグモクリニック福岡、<sup>4</sup>ナグモクリニック名古屋

○丹羽 幸司<sup>1,2</sup>、坪田 優<sup>1,3</sup>、中澤 学<sup>2,3</sup>、山口 悟<sup>2,4</sup>、  
南雲 吉祥<sup>1,2</sup>、南雲 吉則<sup>1,2,3,4</sup>

S4-3 自家組織を用いた乳房再建術と患者満足度を高めるための美容外科手技の応用

<sup>1</sup>富山大学学術研究部医学系 形成再建外科・美容外科、  
<sup>2</sup>横浜市立大学附属市民総合医療センター 形成外科、  
<sup>3</sup>横浜市立大学医学部 形成外科

○佐武 利彦<sup>1</sup>、岡本 茉希<sup>1</sup>、東山麻伊子<sup>1</sup>、武藤 真由<sup>2</sup>、前川 二郎<sup>3</sup>

S4-4 脂肪注入による乳房形成術の工夫：培養脂肪幹細胞添加、皮膚拡張器、barbed糸を用  
いた乳房下縁形成等

<sup>1</sup>ザ・クリニック 東京院、<sup>2</sup>ザ・クリニック 名古屋院、  
<sup>3</sup>ザ・クリニック 大阪院、<sup>4</sup>ザ・クリニック 福岡院、  
<sup>5</sup>ザ・クリニック 横浜院

○大橋 昌敬<sup>1</sup>、中居 弘一<sup>1</sup>、加藤 敏次<sup>1</sup>、千葉 明彦<sup>2</sup>、福田 越<sup>3</sup>、  
志田 雅明<sup>4</sup>、東 康晴<sup>5</sup>、浅井 智之<sup>1</sup>、村田八千穂<sup>1</sup>、西川みどり<sup>1</sup>

S4-5 乳房再建・乳房の美容外科における『対称性』・『美』をどう考えるか？

<sup>1</sup>蘇春堂形成外科、<sup>2</sup>北海道大学形成外科

○矢島 和宜<sup>1</sup>、野平久仁彦<sup>1</sup>、山本 有平<sup>2</sup>

## パネルディスカッション1

2月25日(木) 9:00-10:40

第1会場(4F ロイヤルホール①)

### 「美容外科術後のUnfavorable Resultのリカバリー」

座長：岩波 正陽(新横浜形成クリニック)

矢永 博子((医)Yanaga Clinic & 組織再生研究所)

P1-1 切開法による重瞼を一重に戻す手術

郡山タウン形成外科クリニック

○石原 信浩

P1-2 上眼瞼手術後の皮下癒痕過剰形成～Unfavorable resultを引き起こす患者側要因と  
再手術戦略

東北医科薬科大学 医学部 形成外科学

○権太 浩一、舘 一史、高地 崇

P1-3 鼻の形成術：他院術後Unfavorable Result症例における修正術

<sup>1</sup>銀座S美容・形成外科クリニック、<sup>2</sup>北里大学医学部 形成外科・美容外科学

○酒井 直彦<sup>1</sup>、矢沢 慶史<sup>1</sup>、武田 啓<sup>2</sup>

P1-4 乳房美容手術後のUnfavorable Resultのリカバリー:乳房インプラントの抜去術について

亀田総合病院 乳腺センター乳房再建外科

○浅野 裕子

P1-5 植毛における不満足症例と改善法

ヨコ美クリニック

○今川賢一郎

P1-6 Unfavorable Resultは誰からみたUnfavorableなのか? Unfavorable resultを回避、対応するコツ

加藤クリニック麻布アネックス

○山口 憲昭

## パネルディスカッション2

2月25日(木) 9:00-10:00

第2会場(4F ダイヤモンド)

「唇裂鼻に対する美容的形成術」

座長：三川 信之(千葉大学医学部附属病院 形成・美容外科)

P2-1 両側唇裂鼻に対する美容的形成術

久留米大学形成外科・顎顔面外科

○力丸 英明、清川 兼輔、守永 圭吾、井野 康、右田 尚

P2-2 当院の唇裂外鼻手術(自然な形態を目指して)

藤田医科大学 形成外科

○井上 義一、犬飼 麻妃

P2-3 唇裂鼻に対する美容的形成術(非対称の改善のために)

城本クリニック

○田中 真輔、森上 和樹

P2-4 美容外科(自由診療)で行う唇裂鼻修正手術

<sup>1</sup>自由が丘クリニック、<sup>2</sup>北里大学医学部形成外科・美容外科学

○中北 信昭<sup>1</sup>、兵藤 徹也<sup>1</sup>、古山 登隆<sup>1</sup>、秋本 峰克<sup>2</sup>、武田 啓<sup>2</sup>

## 教育パネル

2月24日(水) 15:00-16:30

第1会場(4F ロイヤルホール①)

「美容外科医の勧め：私はこうして美容外科医になった」

座長：武田 啓(北里大学 医学部 形成外科・美容外科学)  
倉片 優(クリニカ市ヶ谷)

EP-1 形成外科を極めるための美容外科

神戸大学医学部附属病院 美容外科  
○原岡 剛一

EP-2 美容外科医に必要な要素とは 当院の70年に及ぶ歴史を振り返って

当山美容形成外科  
○当山 拓也、当山 護、古屋 恵美

EP-3 私はこうして美容外科を学んでいます

<sup>1</sup>藤田医科大学 形成外科、<sup>2</sup>表参道スキンクリニック、<sup>3</sup>東京美容外科  
○井上 義一<sup>1</sup>、中西 雄二<sup>2</sup>、麻生 泰<sup>3</sup>

EP-4 私の考える美容外科の魅力

<sup>1</sup>牧野美容クリニック、<sup>2</sup>牧野皮膚科形成外科内科医院  
○牧野 太郎<sup>1,2</sup>

EP-5 形成外科医が苦手な、人気の美容外科医になるための要素

ビスポーケクリニック  
○室 孝明、五反田希和子、増本 和之

EP-6 美容外科診療と形成外科診療のボーダーレス診療を目指して奮闘する自立型診療の  
すすめ

加藤クリニック麻布アネックス  
○山口 憲昭

ランチョンセミナー 1

2月24日(水) 12:00-13:00

第1会場(4F ロイヤルホール①)

症例・アンケートから見る患者ニーズの多様化  
～レーザー複合機と脱毛機の活用事例紹介～

司会：大慈弥裕之(福岡大学医学部総合医学研究センター)

共催：メディカランド株式会社

LS1-1 演題① 複合機1台でできる自費治療と美容の実際

有川スキンクリニック

○有川 公三

多様化する患者のニーズに対応するために、あるいは保険診療では限界がある疾患のために、また経営面での増収のために様々な機器の導入を検討している先生もいらっしゃると思う。しかし専用機器では機器の性能を十分に生かせなかったり、設置場所やメンテナンス費用が稼働率と見合わないなどの問題も生じている。当院では開業初期から複合機ハーモニー XLを導入し、現在2世代目である。当院では20種類以上の装着可能なハンドピースのうち、現在までに6種を採用し対応している。ハンドピースは、必要なタイミングで増設できる点がメリットで、保険では対応できないニーズから手術など時間とコストがかかる疾患まで良好な結果が出ている。今回はハーモニー XL Proについて紹介するとともに、1つのハンドピースでできる施術から複数のハンドピースを用いた応用例も供覧する。

LS1-2 演題② 脱毛はただ受けたいのではなく、なぜ受けたいのかという時代へ

おくむらクリニック

○奥村 千香

1995年レーザーによる脱毛が生まれ、日本に脱毛レーザーが入ってきた時代では、他人に見える場所のニーズが多かったと思われる。これが脱毛の第1世代とすれば第2世代はレーザー脱毛に加え光治療による脱毛、減毛が幅広く広まってきたといえる。第2世代では医療機関でのレーザー脱毛だけではなくIPLを使用したエステサロン等での脱毛(減毛)も認知されるようになった。そうすると、より多くの場所の脱毛が求められ、いかに早く広い場所を脱毛できるかが競われてきた。

そして最近の傾向としては、なぜ受けたいのかという受け手側のニーズが明確になってきたため少し減少していた医療脱毛に患者さんの波が戻ってきている。つまり今第3世代に入ったといえるのではないだろうか。

当院では蓄熱式の脱毛レーザーソプラノアイスにて脱毛を行っており、最近はこども脱毛、介護脱毛を希望される方が増えてきた。介護脱毛のアンケート調査などを含め今後の脱毛の方向性について述べる。

特別プログラム

一般プログラム  
第1日目

一般プログラム  
第2日目

特別講演

教育講演

共通講習

特別シンポジウム

シンポジウム

パネルディスカッション

教育パネル

一般演題

索引

## ランチョンセミナー 2

2月24日(水) 12:00-13:00

第2会場(4F ダイヤモンド)

**司会:** 宮脇 剛司 (東京慈恵会医科大学 形成外科学講座 教授)

**共催:** 株式会社エムディティ・インターナショナル

### LS2 ボツリヌストキシン治療メソッド for BODY

—ふくらはぎ・肩・多汗症(軽度～中程度)—

城本クリニック 新宿院 院長

○田中 真輔

美容医療領域においてボツリヌストキシンがスタンダード治療となって十余年が経ちました。これまで多くの医師の研鑽により、未承認ながら適応とされる部位も広がり、一部の部位におきましては国内で承認を取得した製品もあります。しかしながら、適応外部位、特にBODYに対する治療方法は明確な手技はなく、独学で対応された先生やどのようにすればよいかかわからないといった先生も多くいらっしゃるのではないのでしょうか？ 本日はボツリヌス治療メソッド for BODYということで、「注入量はどれくらい?」「注入箇所は何ヶ所?」といった素朴な疑問点も含めまして、特に患者様からのご要望も多いとされる、ふくらはぎ、肩、多汗症(軽度～中程度)に対するポイントをご紹介します。

## ランチョンセミナー 3

2月24日(水) 12:00-13:00

第3会場(4F サファイア)

**司会:** 武田 啓 (北里大学医学部 形成外科・美容外科学 主任教授)

**共催:** アラガン・ジャパン株式会社

### LS3 下顔面治療に対する新たな選択肢の可能性

自由が丘クリニック 理事長

○古山 登隆

顎やフェイスラインなど顔の下顔面は美しい顔を表現するための重要なエリアである。特に日本人を含むアジア人では欧米人に比べて骨格的に下顎が小さいため、潜在的な治療ニーズは高いと考えられる。しかし日本人の下顔面治療はアジアの他国と比べても低く、患者の主訴も上顔面に比べて低い傾向である。

本セミナーでは今後日本の下顔面治療の必要性を認知させ、患者満足度をさらに高めるために下顔面治療に必要な解剖学と2020年8月に厚生労働省から承認された下顔面治療の新たな選択肢であるジュビダームビスタ® ボラックス XCの可能性について紹介する。

ランチョンセミナー 4

2月25日(木) 12:20-13:20

第1会場(4F ロイヤルホール①)

司会：安田 浩(産業医科大学形成外科)

共催：シネロン・キャンデラ株式会社

LS4 色素レーザーの変遷と大口径・高出力次世代色素レーザー Vbeam Prima

東海大学医学部外科学系形成外科

○河野 太郎

血管病変のレーザー治療の第一選択は色素レーザーである。レーザーの照射時間は拡大熱緩和時間を考慮して算出され、血管径に応じた照射時間が必要となるが、皮膚冷却装置付長パルス幅色素レーザーが開発され低侵襲で高い治療効率を得られる。長パルス化により、口径の大きい血管への有効性が増加した。90年代は5mmの照射口径が、2000年代前半は～10mm、後半から～12mm、20年からは15mmと増大し、深部病変の治療が可能となった。最新色素レーザー Vbeam Primaは、大口径においても従来よりも高いフルーエンス照射が可能となり、スポットサイズを細かく設定できるズームハンドピースを採用しているため、紫斑を形成する最大スポットサイズの選択が可能である。

ランチョンセミナー 5

2月25日(木) 12:20-13:20

第2会場(4F ダイヤモンド)

司会：高田 章好(大阪大学医学部形成外科)

共催：メトラス株式会社

LS5 安心できる新しい治療オプション ～エキスパートが語る現況と展望～

LS5-1 A Novel Pigment Corrector With Clinical Evidence: Stabilized-cysteamine 5% Cream

Refresh Dermatology (Houston, Texas)

○Suneel Chilukuri, MD, FAAD, FACMS

Introduction:

Stabilized-cysteamine 5% cream (ST-CYS-5%) is a novel, non-hydroquinone, topical pigment regulator which has been assessed in multiple head-to-head clinical trials. Here we share a concise review of the outcomes.

Method:

Study-1: Randomized, double-blinded study of 50 melasma patients assigned to either ST-CYS-5% (Cyspera®, Scientis) for daily 15-minute exposure or modified Kligman's formula (mKF, 4%hydroquinone, 0.05%retinoic acid and 0.1%betamethasone) overnight exposure, for four-months, assessed by mMASI, Investigator global assessment (IGA) and patient questionnaire.

Study-2: Randomized, single-blinded study of 54 melasma patients assigned to either ST-CYS-5% (Cyspera®, Scientis) daily for 16-weeks or in-office tranexamic-acid mesotherapy (mesoTXA, 0.05 mL,4mg/mL) every 4-weeks for 3-sessions, assessed by mMASI and Dermacatch.

Study-3: Randomized, double-blinded trial of 20 melasma patients assigned to either ST-CYS-5% (Cyspera®, Scientis) for 15-minute exposure or 4% hydroquinone (HQ4%) for daily use for 16-weeks, assessed by mMASI.

Results:

Study 1: At week 8 and 16, ST-CYS-5% produced significantly greater reductions from baseline in mMASI score (32.3%, 51.3%), compared to mKF (23.7%, 42.3%;  $P=0.005$  and  $0.001$ , respectively). IGA and patient self-assessment scores were similar for both treatments at each time-point. At week-8 and -16 respectively, irritation was reported by 32% and 36% of patients treated with ST-CYS-5% vs 84% and 92% of patients treated with mKF.

Study 2: Reduction of melasma with no statistical differences in improvement between the two groups (week-16, 45.9% ST-CYS-5% and 47.1% mesoTXA) was demonstrated. No patient had recurrence at 4-months and 8-weeks follow up. Complications of erythema, itching, burning and irritation were more frequent in mesoTXA group ( $P<0.001$ ).

Study 3: Per protocol analysis reveals favorable reduction in mMASI score of 39.1% ( $3.1 \pm 1.9$ ) in ST-CYS-5% arm vs 33% ( $3.2 \pm 3.7$ ) for HQ4% ( $P = 0.96$ ). ITT showed non-significant superiority of HQ4%. Results suggest comparable efficacy indicating cysteamine is acceptable alternative to HQ.

Conclusion:

Results confirm efficacy, safety and tolerability of ST-CYS-5% compared to alternative melasma treatments.

## LS5-2 エラスチン・コラーゲン再生を主なターゲットとするナチュラル・リジュビネーションの取り組みと評価～ECM Skin Regeneratorの検討～

スキンリファインクリニック 広尾

○橋本 聡

昨今、欧州を中心としてよりナチュラルな美容医療材料ならびにそれによる「より自然な若返り」を求める患者のトレンドが強くなってきている。架橋型のヒアルロン酸製剤のように中長期で体内に残留する物質を“一切”使うことなく、元来生体内に存在してなおかつ短期で消失する物質のみを使った新たな製剤が注目され始められている。当院ではエラスチン・コラーゲン再生の特許を取得したアミノ酸・非架橋ヒアルロン酸混合製剤を用いており、現在までのところ重篤な有害事象もなく、高い患者満足度と有効性が認められている。今回、約 200 例の自験例の考察を交えながら有用性に繋がる最適な施術方法、それに加えてマイクロニードリングを併用したプレリミナリーな結果を報告する。

イブニングセミナー 1

2月24日(水) 16:35-17:25

第1会場(4F ロイヤルホール①)

司会：倉田荘太郎(別府ガーデンヒルクリニック くらた医院)  
共催：PRSS.Japan 株式会社

ES1 間葉系幹細胞由来「EXOSOME (エクソソーム) の育毛効果について

ExoCoBio Exosome Institute (EEI) 韓国

○Byong Seung Cho

London Exosome Clinic イギリス

○Shameema Damree

Metspharma Academy トルコ

○Senol Pak

エクソソームとは、様々な細胞内構成因子を含んだ直径50～100 nmの小胞であり、皮膚線維芽細胞、ケラチノサイト、免疫細胞等の間を移動し、多数の成長因子、抗炎症性サイトカインおよび組織修復および免疫調節に関与する遺伝物質を標的細胞に伝達する。

この強力な遺伝情報メッセンジャーであるエクソソームは、幹細胞の「AVATAR」として作用し、再生医療における幹細胞のパラクリン効果の主要メディエーターであると考えられる。

「ASCE+HRLV」は、100億個の凍結乾燥エクソソーム、10種類の成長因子(IGF、VEGF、FGF、EGF、HGF、PDGFなど)、19種類のアミノ酸、4種類のコエンザイムを含有する製剤である。

当該エクソソームの有効成分伝達効果を利用することで、育毛治療において優れた効果が期待出来る。

イブニングセミナー 2

2月24日(水) 16:35-17:25

第2会場(4F ダイヤモンド)

司会：久保田潤一郎(久保田潤一郎クリニック 院長)  
共催：ハルテック株式会社

ES2 最新レーザー治療 Fotona6D とインティマ 4D

ES2-1 2波長レーザー SP Dynamis Pro を用いたたるみ治療:新しいスキャナによる non-ablative な Er:YAG レーザーの皮膚と粘膜からの照射

みやた形成外科・皮ふクリニック

○宮田 成章

【目的】加齢による顔面のたるみ治療として、昨今様々な機器が登場している。

レーザー、高周波、HIFU(高密度焦点式超音波)などの有用性が多数報告されている。その機序は、外科手技と異なり、熱を主たる作用として創傷治癒機転を生じさせ再構築・組織の再生を図るものである。その効果は限定的ではあるものの、ダウンタイムを要さずリスクが少ないため患者への負担も少なく、また正しく使用すれば多くの医療従事者にとって熟練を要するものではないことなどから、現在の美容医療においては欠かせないものとなってきている。

【方式・結果】近年、新しい試みとしてFotona社製SP Dynamis Proを用い、粘膜面からEr:YAG

レーザーを照射し、その光熱作用によってたるみを改善する手法が報告されている。Er:YAGレーザーは水分に対して高い吸収率を持ち、一般的には蒸散型のレーザーに属するが、蒸散温度に到達させないような断続的なパルス幅で発振し粘膜面より確実に深部へ熱を伝播させていくことが可能なsmooth modeによって粘膜固有層の収縮と引き続き生じる創傷治癒機転による広範囲なremodeling効果が得られる。また、もう一つの搭載波長Nd:YAGレーザーの同日照射によってその深達性を活かした熱作用を生じさせるなど、たるみ治療に関してあらゆる深度へのアプローチが実施される (Fotona4D®)。さらに皮膚表面からでさえもnon-ablativeにEr:YAGレーザーを照射できるスキャナー「Tランナー」が登場し、従来の手法では成し得なかった皮膚表層の引き締め効果が得られるようになってきた (Fotona6D)。

【結論】今回、たるみ治療における機器治療の基本的考えを解説したうえで、臨床結果を供覧するだけではなく、Er:YAGレーザー smooth modeの基礎実験データをもとにその作用機序や優位性を述べたい。

## ES2-2 EBD 機器導入による美容婦人科治療の発展

みどり美容クリニック・広尾

○満行みどり

美容婦人科は欧米では「Cosmetogynecology」と呼ばれ、アメリカでは1990年代後半からDr. Marco A. Pelosi II、Dr. Marco A. Pelosi III、Dr David Matlockらによって発展してきた。彼らは産婦人科専門医であるが、婦人科診療での問題と美容外科医の行う脂肪吸引術や腹部形成術などの標準的な美容整形手術とを組み合わせることで「Cosmetogynecology」という分野を発展させてきた。同時に彼らは様々な学会、研究会を設立しDr. Matlockが設立したLaser vaginal rejuvenation (LVR) institute of Americaでは世界40カ国以上の医師が参加した。現在では世界中に美容婦人科治療を目的とした様々な学会が存在し、また美容系の医学会でも女性器治療を専門としたセッションが散見されるようになってきている。

私自身は2010年にDr. MatlockによるLVRレクチャーを受けにいったことによりCosmetogynecologyを「美容婦人科」と訳し美容外科医としての経験を元に、同年美容婦人科治療を中心としたクリニックを開業した。さらに2013年ごろより様々なデリケートゾーン用EBD機器を導入したことで美容婦人科治療の幅がさらに広がっている。近年日本国内でも美容婦人科治療をメニューとして取り入れる施設が多くなると共に、SNSの発展やファッションの流行の波、フィットネスブームによって審美的な女性器形成の治療も広くニーズが高まっている。特にFOTONA社のFotonaSmooth™ レーザー (IntimaLase®)は欧米、アジア、カナダ保険局などからも世界に先駆けて認可を受けているマシンであり、適応が多岐に渡る。デリケートゾーン脱毛やホワイトニングなどの審美的治療から膣弛緩、GSM(Genitourinary Syndrome of Menopause:外陰閉経関連尿路症候群)など機能的治療への使用で良い結果が得られている。

本演題では、これまでの外科的な治療がメインだった美容婦人科治療から、低侵襲の治療が普及してきた近年の治療を含めて海外のトレンドや日本での女性器形成～美容婦人科治療の変遷、現状について、自身の日々の臨床経験と共に紹介したい。

# 一般演題プログラム (第1日)

第2会場 (4F ダイヤモンド)

2月24日(水)

9:00  
~  
10:10

乳房

座長：矢島 和宜 (蘇春堂形成外科)

- O-01 アクアフィリングによる乳房増大術後の合併症に対し手術を行った2例  
<sup>1</sup>昭和大学 形成外科、<sup>2</sup>船橋中央病院形成外科  
○黒木 知明<sup>1</sup>、中原 真理<sup>1</sup>、冨塚 陽介<sup>2</sup>、佐藤 伸弘<sup>1</sup>、門松 香一<sup>1</sup>
- O-02 Macrofillを用いた自家遊離脂肪移植術  
<sup>1</sup>日本医科大学付属病院 形成外科・再建外科・美容外科、  
<sup>2</sup>自治医科大学付属病院 形成外科、<sup>3</sup>SAKAE美容クリニック  
○朝日林太郎<sup>1,2,3</sup>、小川 令<sup>1</sup>
- O-03 乳房インプラントの合併症と対策  
<sup>1</sup>新宿美容外科・歯科、<sup>2</sup>慶応義塾大学形成外科  
○酒井 成身<sup>1</sup>、酒井 成貴<sup>2</sup>
- O-04 “Breast Animation Deformity” — 形態的・局所解剖学的評価とその予防のための手術手技の検討  
埼玉医科大学総合医療センター 形成外科・美容外科  
○牧野 潤、大西 文夫、山川 知巳、鈴木 愛弓、三鍋 俊春
- O-05 乳輪部の瘢痕を少なくする、酒井法：陥没乳頭形成術のデザインの工夫  
<sup>1</sup>たねだ内科 形成外科、<sup>2</sup>新宿美容外科・歯科、  
<sup>3</sup>大分市医師会立アルメイダ病院 形成外科  
○種子田紘子<sup>1</sup>、酒井 成身<sup>2</sup>、橋本 裕之<sup>3</sup>、宗元 碩哲<sup>3</sup>
- O-06 乳癌術後のSkate flap purse-string法を用いた乳頭再建における巾着縫合の工夫  
埼玉医科大学総合医療センター 形成外科・美容外科  
○山川 知巳、木山麻衣子、板橋 由己、大西 文夫、三鍋 俊春

第2会場 (4F ダイヤモンド)

2月24日(水)

10:40  
~  
11:10

眼瞼1

座長：宇津木 龍一 (クリニック宇津木流)

- O-07 CO2レーザーにて皮膚小孔切開を行う埋没法重瞼術  
プリモ麻布十番クリニック 美容外科  
○大岩 宏維、大場 教弘、大場天祐子、新行内芳明、高野 敏郎

特別プログラム

一般プログラム  
第1日目

一般プログラム  
第2日目

特別講演

教育講演

共通講習

特別シンポジウム

シンポジウム

パネルディスカッション

教育パネル

一般演題

索引

**O-08 長期保証の埋没法により、フォロー可能な患者の短中期のイベント発生率と、患者側要因や施術方法との関連**

医療法人 健真会 城本クリニック

○小川 英朗、森上 和樹

**O-09 美容外科手術によって生じた下眼瞼後退の修正術**

<sup>1</sup>カウニスクリニック、<sup>2</sup>プリモ麻布十番クリニック

○高野 敏郎<sup>1</sup>、大場 教弘<sup>2</sup>、大場天祐子<sup>2</sup>、大岩 宏維<sup>2</sup>、新行内芳明<sup>2</sup>

**第2会場 (4F ダイヤモンド)**

2月24日(水)

11:10  
?  
11:50

**眼瞼 2**

**座長:** 宇津木 龍一(クリニック宇津木流)

**O-10 手術所見に基づいた日本人上眼瞼解剖**

<sup>1</sup>福岡大学 形成外科、<sup>2</sup>福岡山王病院 形成外科

○大慈弥裕之<sup>1</sup>、西 建剛<sup>1</sup>、高木 誠司<sup>1</sup>、衛藤 明子<sup>2</sup>、森永 絵理<sup>1</sup>

**O-11 上眼瞼皮膚弛緩症に対する眉毛下皮膚切除術の見た目変化:退行性眼瞼下垂症に対する挙筋前転術との比較**

<sup>1</sup>パールスキンクリニック天神、<sup>2</sup>福岡山王病院形成外科、<sup>3</sup>福岡大学形成外科

○山道 光作<sup>1</sup>、衛藤 明子<sup>2</sup>、高木 誠司<sup>3</sup>、大慈弥裕之<sup>3</sup>

**O-12 眼輪筋タッキングにおける牽引方向の検討**

<sup>1</sup>福岡大学 形成外科、<sup>2</sup>六本木境クリニック

○西 建剛<sup>1</sup>、高木 誠司<sup>1</sup>、境 隆博<sup>2</sup>、大慈弥裕之<sup>1</sup>

**O-13 FACE-Q®を用いた若年者における眉下リフト+脂肪切除の患者満足度調査**

湘南美容クリニック

○増田えりか、名倉 俊輔、村松 英俊、居川 和広、飯田 秀夫

**第2会場 (4F ダイヤモンド)**

2月24日(水)

16:00  
?  
16:10

**訴訟**

**座長:** 田村 雅樹(日野・田村法律事務所)

**O-14 訴訟:太腿内外の局所麻酔単独の日帰り脂肪吸引と深部静脈血栓・肺動脈血栓塞栓による急死での鑑定への検討**

ヤスミクリニック

○木村 知史

第3会場 (4F サファイア)

2月24日(水)

9:00  
?  
10:00

その他

座長：原岡 剛一 (神戸大学医学部附属病院 美容外科)

O-15 撮影画像を簡易に一定化する方法 —臨床への応用—

<sup>1</sup>神戸大学医学部附属病院 美容外科、

<sup>2</sup>神戸大学大学院 医学研究科 形成外科学、<sup>3</sup>川崎病院 形成外科、

<sup>4</sup>兵庫県立がんセンター 形成外科

○武川 力<sup>1</sup>、原岡 剛一<sup>1</sup>、吉武 優<sup>2</sup>、村上 英毅<sup>3</sup>、榊原 俊介<sup>4</sup>、  
寺師 浩人<sup>2</sup>

O-16 血管腫・血管奇形に対するリハビリメイクの有用性

<sup>1</sup>REIKO KAZKI、<sup>2</sup>日本医科大学付属病院 形成外科・再建外科・美容外科

○かづきれいこ<sup>1,2</sup>、朝日林太郎<sup>2</sup>、小川 令<sup>2</sup>

O-17 ハイドロキシアパタイトを用いた輪郭形成術—美容目的とした先天異常疾患を中心として—

千葉大学 医学部 形成外科

○玉川 栄樹、山口 華、中谷 元、加賀美聡子、新井 美波、  
緒方 英之、秋田 新介、窪田 吉孝、三川 信之

O-18 チタンプレート抜去は妥当か ～顎変形症治療のデータより～

群馬大学大学院医学系研究科 口腔顎顔面・形成外科学講座

○平井 優樹、正田 晃基、中村 英玄、山津 幸恵、牧口 貴哉、  
横尾 聡

O-19 人工睾丸挿入術の経験

千葉大学 医学部 形成外科

○松原 友貴、三川 信之、西岡 嶺、渡邊 陽平、金井 雅彦、  
川上 真央、緒方 英之、秋田 新介、窪田 吉孝

O-20 腋臭症術後合併症に関する後ろ向き診療録調査

<sup>1</sup>昭和大学 形成外科、<sup>2</sup>日本橋形成外科

○野村美佐子<sup>1</sup>、森岡 大地<sup>1</sup>、網倉 良安<sup>2</sup>、門松 香一<sup>1</sup>

特別プログラム

一般プログラム  
第1日目

一般プログラム  
第2日目

特別講演

教育講演

共通講習

特別シンポジウム

シンポジウム

パネルディスカッション

教育パネル

一般演題

索引

### 第3会場 (4F サファイア)

2月24日(水)

10:00  
?  
10:40

#### 毛髪

座長：坂本 有孝 (アイランドタワークリニック新宿院)

#### O-21 本邦における頭髪の生え際の形態についての考察

<sup>1</sup>長崎大学 形成外科、

<sup>2</sup>友愛医療センター 形成外科・顎顔面外科・美容外科・美容皮膚科

○樫山 和也<sup>1</sup>、原口 莉奈<sup>1</sup>、伴 楓子<sup>1</sup>、吉田 大作<sup>1</sup>、福田麻衣美<sup>1</sup>、  
松本 紘子<sup>1</sup>、伊達 直人<sup>1</sup>、石山 智子<sup>2</sup>、田中 克己<sup>1</sup>

#### O-22 外用ヤヌスキナーゼ阻害薬による円形脱毛症治療の1例

新東京病院 形成外科・美容外科

○瀧川 恵美

#### O-23 当院における植毛手術法と治療成績

アイランドタワークリニック

○坂本 有孝、安倍 徳寿、葛西 嘉亮、對馬 彰利

### 第3会場 (4F サファイア)

2月24日(水)

15:00  
?  
15:50

#### 顔面若返り 1

座長：門松 香一 (昭和大学医学部形成外科学講座)

#### O-24 Thermal Rejuvenationの長期経過(第18報)と口腔側レーザー照射の有用性

クロスクリニック銀座

○石川 浩一

#### O-25 取り下げ

#### O-26 スレッドリフト刺入孔作成に1mm径Biopsy Punch(皮膚生検トレパン)は有用である

<sup>1</sup>伊那中央病院形成外科・美容外科、<sup>2</sup>静岡県立がんセンター 形成再建外科

○近藤 昭二<sup>1</sup>、安永 能周<sup>2</sup>、小林 美晴<sup>1</sup>、金城 勇人<sup>1</sup>

#### O-27 スレッドリフト後に発症した浅側頭動脈瘤の治療経験

東京女子医科大学 形成外科

○新美 陽介、亀井 航、早川 奈見、長 渚、仲本 寛、  
堀 圭二郎、本田 隆司、櫻井 裕之

第3会場 (4F サファイア)

2月24日(水)

15:50  
~  
16:40

顔面若返り2

座長：林 寛子 (Jóia Clinic Kyoto)

O-28 PRPF 治療による顔面のリフトアップ効果

カメイクリニック

○亀井 康二、木村 哲治、瀬戸 彩乃

O-29 当院で行っている顔面の老化に対する非外科的治療について

<sup>1</sup>OZUMIクリニック、<sup>2</sup>聖マリア病院 形成外科、<sup>3</sup>福岡大学 薬学部

○林 奈津子<sup>1</sup>、小住 和徳<sup>1</sup>、福井 亨昌<sup>1</sup>、林 稔<sup>2</sup>、高田 二郎<sup>3</sup>

O-30 Mid-Cheek Groove に対してアガロースフィラーを用いた治療経験

福嶋美容外科クリニック

○福嶋康二郎

O-31 下顎先端及び下顎部のボリューム増大に対するヒアルロン酸製材VYC-25Lの臨床成績:18ヶ月の安全性と有効性

<sup>1</sup>アラガン・ジャパン株式会社、<sup>2</sup>SkinConcept, Munich, Germany、

<sup>3</sup>Cabinet Medical Solferino, Paris, France、

<sup>4</sup>Cologne Dermatology, Cologne, Germany、

<sup>5</sup>Centre de Chirurgie Esthetique, Toulouse, France、

<sup>6</sup>Private Practice, Amsterdam, Netherlands、<sup>7</sup>Allergan plc, Marlow, UK、

<sup>8</sup>Allergan plc, Irvine, California

○古賀 哲哉<sup>1</sup>、Ogilvie Patricia<sup>2</sup>、Benouaiche Laurence<sup>3</sup>、

Philipp-Dormston Wolfgang<sup>4</sup>、Belhaouari Lakhdar<sup>5</sup>、

Gaymans Frodo<sup>6</sup>、Harvey Candice<sup>7</sup>、Schumacher Andrew<sup>8</sup>

特別プログラム

一般プログラム  
第1日目

一般プログラム  
第2日目

特別講演

教育講演

共通講習

特別シンポジウム

シンポジウム

パネルディスカッション

教育パネル

一般演題

索引

# 一般演題プログラム (第2日)

第2会場 (4F ダイヤモンド)

2月25日(木)

11:00  
}  
12:10

外鼻形成

座長：大竹 尚之 (松倉クリニック代官山 大竹ラボ)

O-32 鼻内法で行う鼻中隔延長術および複合自家組織隆鼻術

アネシス美容クリニック

○水野 力

O-33 鼻翼の縦幅を変える鼻翼縮小術

ヴェリテクリニック

○大橋菜都子、藤本 雅史、福田 慶三

O-34 鼻形成術の術後疼痛管理

～EXPAREL (エクスパレル) の使用経験

ビスポーケクリニック

○室 孝明、五反田希和子、増本 和之

O-35 結果を正確に予測したい「3Dシミュレーションに撮影体位は影響するか？」

ビスポーケクリニック

○五反田希和子、室 孝明

O-36 Romberg 病患者に対する鼻形成の1例

<sup>1</sup>藤田医科大学病院形成外科、<sup>2</sup>表参道スキンクリニック

○犬飼 麻妃<sup>1</sup>、井上 義一<sup>1</sup>、中西 雄二<sup>2</sup>

O-37 expanded forehead flap による鼻瘤の治療経験

埼玉医科大学病院 形成外科・美容外科

○新海 千裕、滝本磨理香、時岡 一幸、市岡 滋

第3会場 (4F サファイア)

2月25日(木)

9:00  
}  
10:00

レーザー・色素沈着

座長：山下 理絵 (湘南藤沢形成外科クリニックR)

O-38 皮膚適用を目的とする光安定性が高く光毒性が低い活性型ビタミンKの皮膚送達法

<sup>1</sup>福岡大学薬学部薬物送達学教室、<sup>2</sup>OZUMIクリニック

○高田 二郎<sup>1</sup>、福井 亨昌<sup>2</sup>、林 奈津子<sup>2</sup>、小住 和徳<sup>2</sup>

- O-39 1540nmフラクショナルレーザーを用いた癬痕の治療—手術痕やリストカットをきれいに出来るのか—  
 スマイルクリニック  
 ○西川 雄希
- O-40 コリメートレーザーを用いたバストトップ色素沈着の治療—ノーダウンタイムでの治療を目指して—  
 スマイルクリニック  
 ○西川 雄希
- O-41 ADM (Aquired dermal melanocytosis)、後天性真皮メラノサイトーシスの治療に対する当院でのアルゴリズム  
 湘南藤沢形成外科クリニックR  
 ○近藤 謙司、山下 理絵
- O-42 加齢性混合型皮膚色素斑：Aging Complex Pigmentation (ACP) 治療のアルゴリズム  
 湘南藤沢形成外科クリニックR  
 ○山下 理絵、近藤 謙司

特別プログラム

一般プログラム  
第1日目

一般プログラム  
第2日目

特別講演

教育講演

共通講習

特別シンポジウム

シンポジウム

パネルディスカッション

教育パネル

一般演題

索引